



岩木山遠景

前に岩木山に登ったのは100名山も79座目で1986年10月のことだった。この山には御山参詣といって、岩木山神社を信じる人たちが、神社に参詣したり岩木山に登ったりする風習がある。私が登った時の10月の最初の日曜日はこの時に当たっていたようで、神社の周りには見世物小屋や露天商のテントなどがいっぱいかかっていた。中には闘犬もあったように思う。なぜか犬の鳴き声が耳に残っている。こんな時に行き合わせてしまったので近くの温泉などの宿屋はどこも満員であった。この当時勤めていた会社の東北支店所属であった若林君に頼んだら弘前市内の旅館を紹介してくれたのでそこに泊まった。これが「フーテンの寅さん」の映画に出てくるような商人宿というやつである。朝飯の時にはとび職のような人がダボシャツとニッカーボッカーと一緒に飯を食った。岩木山神社からボチボチ登り始めたら百姓のじいさんやばあさんが長靴で登ってきて、俺なんか軽々追い抜いて行った。登山靴姿の俺の方が違和感があった。

ツアーリーダーは元気印バアサマの戸村さんで、現地ガイドとして阿保（あぼ）さんが付く。阿保さんは初老の元気のいいジイサマでメリハリのきいた案内をしてくれる。

雲仙でも会ったOザリさん(74)がいる。この他はTカヅ(71)さん、K木(71)さん、Sライシさん(69)の5人が男。女は最高齢が77歳で総勢8人。知った顔はいない。K木さんは写真撮影も含めて年間100日以上山行をこの3年間行っていると言っていた。さすがの私もこれにはゲーである。学生時代最高に登った時でも80日であり、定年した年でヒマだらけの時でさえ3回の海外を含めて68日である。

岩木山(1625m)



岩木山山頂

津軽富士とも呼ばれるが、何処から見てもそれと分かる山容は本物の富士山以上であると私は思っている。富士山の方を駿河岩木とか山梨岩木呼んだっていいと言ったら言い過ぎか。今回の岩木山登山は 8 合目まではバスで行って 9 合目まではリフト利用という、超簡易型登山であった。しかしそのわずか 1 合の登りもケッコウばてた。1986 年の時はこんなみっともない登り方さえしなかった。まあ青森まで飛行機で来て下山後は白神岳の麓への移動であるからこんな計画も致し方ないか。みちのくコザクラという可愛い花もあった。



みちのくコザクラ



岩木山神社



ヘンな狛犬

白神岳(1235m)



五能線の名所十二湖駅の近くにあるアオーネ白神十二湖というリゾート施設に泊まった。本部棟・温泉・宿泊用コテージなどが独立して建てられている立派なものである。思わずキリマンジャロの時に立ち寄ったモメラロッジを思い出す。ただしここにはキリンはいない。ここを拠点にしてマテ山コースをたどって白神岳を往復する。ということは世界遺産の白神山地の世界自然遺産はほんのわずかしかかみ合わない。山頂近くは自然遺産に入るが、ここには肝心の森がない。世界遺産になったブナ原生林とはこんなもんじゃあ無いはずである。原生林を通過して白神岳へ至るコースはない様だ。結局この日きれいであったのは

シラネアオイ



山頂稜線から見下ろす日本海の海岸線であった。まいたびの案内には6時間の行程と書いてあったが、ガイドの阿保さんの説明では登り4時間半で降り3時間に修正され、実際には足をつらす人がでたりしたのもっとかかり、私にとってはこの方がありがたかった。

